



2017年10月27日

報道関係者各位

慶應義塾大学

KMD FORUM 2017 “KMD REMIX” 開催（11/3・11/4）**～大学院メディアデザイン研究科 最新の研究成果を発表～**

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（以下、KMD）は、2017年11月3日（金・祝）、4日（土）の2日間、日吉キャンパス協生館（神奈川県横浜市港北区）にて対外成果発表の場となる KMD Forum 2017 “KMD REMIX” を開催します。KMD 開設 10 年目を迎える本年は、“REMIX”をテーマに、私たちの身体とそれを取り巻く社会がどのようにテクノロジーと混じり合い変化していくか、KMD の様々な研究活動を Remixしながら未来の可能性を探ります。

1. 趣旨

KMD は 2008 年の開設以来、国際色豊かで多様性に富んだ人々が集い、国籍・年齢・経験分野を問わず、国内外の企業・NPO などの組織や個人と関わりながら、未来に向けた新しい価値を創造するために 4 つの創造性（デザイン、テクノロジー、マネジメント、ポリシー）を融合させた研究活動に取り組んできました。2010 年より毎年開催している「KMD Forum」では、KMD の研究活動のエンジンである「リアルプロジェクト」の成果を、シンポジウム、ワークショップ、インタラクティブデモなどのプログラムを通じて一般公開しています。

2. 開催概要

日 時：2017 年 11 月 3 日（金・祝） 13:00～18:00

11 月 4 日（土） 10:00～18:00

会 場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館

（東急東横線・目黒線／横浜市営地下鉄 日吉駅下車 徒歩 1 分）

入場料：無料

主 催：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

内 容：シンポジウム、トークイベント、体験型の研究成果発表展示（ワークショップ、デモンストレーション）

※プログラムの詳細は参考資料やウェブサイト等をご覧ください。ウェブサイト：<http://forum.kmd.keio.ac.jp/>Facebook：<https://www.facebook.com/KMDForum>

*ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

*本リリースは、文部科学記者会、科学記者会、新聞各紙社会部、文化部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先：慶應義塾大学 日吉学生部大学院担当（メディアデザイン研究科担当）

TEL：045-564-2517 Email kmd@info.keio.ac.jp <http://www.kmd.keio.ac.jp/>

本発表資料の配信元：慶應義塾広報室 山崎

TEL 03-5427-1541 FAX 03-5441-7640 Email m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>

KMD Forum 2017



<見どころ>

1. Keynote “REMIX the Humanity”

AI/IoT/VR/ バイオテクノロジーによって人とテクノロジーの関係性はどうか、人が暮らす社会、そして人間の存在そのものはどうか、最先端を走るキーノートスピーカー2人によるプレゼン、後半は稲蔭正彦メディアデザイン研究科委員長を交えて人間の未来を議論します。



- キーノートスピーカー：
北野宏明 | SONY Computer Science Laboratory 所長
水口哲也 | Enhance 創業者 & CEO / メディアデザイン研究科特任教授
- ホスト：稲蔭正彦 | メディアデザイン研究科委員長
- 日時：2017年11月4日（土） 10:40～12:00
- 場所：協生館 2F 藤原洋記念ホール
- 参加申し込み：<http://peatix.com/event/311750> *事前登録なしの当日参加も自由

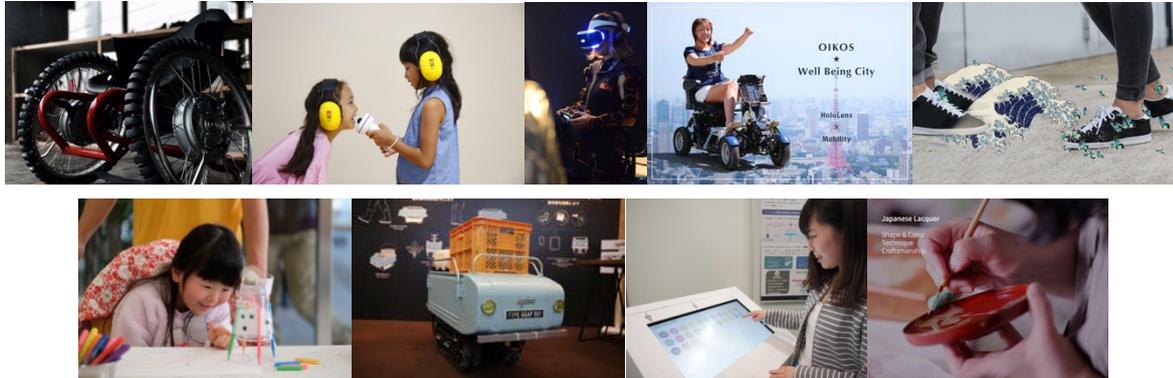
2. REMIX THE CITY～創造都市 TAKESHIBA に向けて～

KMD が2020年にオープンする国際的イノベーション拠点“創造都市 TAKESHIBA”に向け、何を仕掛けるのか？未来の都市生活で私たちはどう過ごすのか？その構想や未来の都市生活を語ります。



- パネリスト：
田中敦典 | 株式会社アルベログランデ取締役（東急不動産株式会社都市事業本部グループリーダー）
菊池尚人 | メディアデザイン研究科特任教授
稲蔭正彦 | メディアデザイン研究科委員長
大江貴志 | クリエイティブ・エッグス株式会社 代表取締役
喜安 伸 | 株式会社ダウンゴ（DWANGO co., ltd.）
太田智美 | ロボットパートナー/アイティメディア株式会社
藤代健介 | コンセプター、Cift 発起人
- モデレータ：岸博幸 | メディアデザイン研究科教授
- 日時：2017年11月3日（金・祝） 13:00～14:40
- 場所：協生館 2F イベントホール内 “REMIX THE CITY” Special Stage

3. 展示・ワークショップ (抜粋) ※以下の展示・ワークショップは全て2日間開催します。



●**ワークショップコレクションミニ in KMD FORUM**

KMDの学生による子供向けクリエイティブワークショップが大集合！
0歳～小学生まで当日受付で参加可能です。

●**Rez Infinite Synesthesia Suit**

「Synesthesia Suit (シナスタジア・スーツ)」は、VRビデオゲーム作品「Rez Infinite」の共感的なコンセプトを体現するために製作されました。音楽を耳からだけでなく、触覚や視覚として体感できる共感覚スーツです。

●**伝統工芸みらいプロジェクト**

伝統産業と地方創生をテーマに、業務用漆器の国内最大の生産地(シェア80%)で革新的な施策を実行する福井県鯖江市、越前漆器協同組合と共同で「伝統工芸とITを生かした地方創生プロジェクト」を実施。現在は活動を福井県全域に拡大し、伝統工芸や食べ物、文化、自然を活用したインバウンド(訪日観光)とアウトバウンド(国内外の新規顧客獲得)の施策立案を支援しています。

●**超人スポーツ**

電動アシスト全方向車椅子を用いて、ドリフト走行等のテクニックで競い合う超人スポーツの車椅子レース、“スライドリフト”で万能感(ALMIGHTY)を実感してください。

●**情報銀行**

「銀行」のような信頼できる組織にパーソナルな情報を預けることで、個人が自分の情報を自己管理することを可能とする社会システム。ATMで自分の情報の価値を可視化します。

●**agbee (アグビー)**

アグビーは2014年からKMDと中西金属工業株式会社が共同で開発してきた農家の相棒ロボットです。アグビーは追従機能や自律走行機能を持つ台車と土壌計測用センサ群を連携することで、農業を楽しみながら売上を上げるためのサービスを提供します。現在はファンを獲得しながら2018年4月からの製品販売に向けて準備が進められています。

*その他50を超えるプロジェクト活動の成果が展示されます。